

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	670400910
法人名	医療法人社団 緑愛会
事業所名	グループホーム楓の家
訪問調査日	平成 21 年 2 月 18 日
評価確定日	平成 21 年 4 月 1 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	670400910		
法人名	医療法人社団 緑愛会		
事業所名	グループホーム楓の家		
所在地 (電話番号)	山形県米沢市金池6丁目8番26号 (電話) 0238-21-7222		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地		
訪問調査日	平成21年2月18日	評価確定日	平成21年4月1日

【情報提供票より】(平成21年1月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 11 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	22 人	常勤 22人, 非常勤 0人, 常勤換算 22人	

(2) 建物概要

建物形態	(併設) 単独		(新築) 改築
建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	57,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(1月10日現在)

利用者人数	27 名	男性 7 名	女性 20 名
要介護1	4 名	要介護2	9 名
要介護3	11 名	要介護4	3 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84 歳	最低 67 歳	最高 91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三友堂病院、齋藤内科医院、明星歯科
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者一人ひとりが尊重され、心身の状態や希望に添ったきめ細かな支援が行われています。
また、ホームはデイサービスセンターも併設しており、利用者は地域の方々と交流しながら、ゆっくり、楽しく、安心した生活を送っています。
運営法人は各地域で介護保険事業を展開しており、法人の理念や方針のもとに、特に人材(人財)育成の面で独自の取り組みや体制を整えており、研修と訓練を重ねた職員による質の高いサービス提供がなされています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)	ユニット間で交換研修を行ったり、合同行事による交流を通して馴染みの関係がつけられるよう配慮している。また、職員異動の際には、利用者や家族に事前に情報提供し、十分な引継ぎを行うことにより利用者へのダメージを防ぐよう配慮されている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を理解しており、この度の自己評価についても職員全員で取り組み、管理者がまとめ上げている。また、前回の評価結果についても具体的な取り組みが行われている。
	重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目③	重点項目②	運営推進会議は、利用者、家族、地域の代表も出席し、2ヶ月ごとに定期開催されている。評価結果や課題への取り組み状況の報告、感染症への対応や地元食材利用についての意見交換、行事の取り組み状況や介護報酬改定の報告、事例報告などを行いながらサービス向上に努めている。
	重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目④	重点項目③	面会時の会話、運営推進会議やサービス担当者会議、家族会や家族アンケートから、家族の意見や要望を把握しており、検討を行って運営やサービス向上に反映させている。
	重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	重点項目④	町内会や地域のいも煮会等への参加をはじめ、中学生やボランティアの受け入れ、保育園児との交流、事業所の行事参加への呼びかけや日常の挨拶など、地域の人々との交流に努めている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		○地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	歴史ある町の特徴を盛り込み、地域の中でゆったりと楽しみながら暮らしていくことを支える、事業所独自の理念がある。		
		○理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は事業所内に掲示されており、また、理念や目標の実践に向けて、会議や日々のミーティングでも確認しながら取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
		○地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会や地域のいも煮会等への参加をはじめ、中学生やボランティアの受け入れ、保育園児との交流、事業所の行事参加への呼びかけや日常の挨拶など、地域の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		○評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を理解しており、この度の自己評価についても職員全員で取り組み、管理者がまとめ上げている。また、前回の評価結果についても具体的な取り組みが行われている。		
		○運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、利用者、家族、地域の代表も出席し、2ヶ月ごとに定期開催されている。評価結果や課題への取り組み状況の報告、感染症への対応や地元食材利用についての意見交換、行事の取り組み状況や介護報酬改定の報告、事例報告などを行いながらサービス向上に努めている。		

山形県 グループホーム楓の家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは、常に電話や直接出向くなどして相談しており、意見交換を行いながら共にサービス向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時の近況報告に加え、毎月発行されるホーム便りと一緒に、通院記録、介護記録、サービス担当者会議録、金銭出納帳の写しも郵送されている。また、預かり金規定に基づいた金銭管理、職員異動の事前説明とホーム便りでの紹介や顔写真の玄関への掲示も行われている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時の会話、運営推進会議やサービス担当者会議、家族会や家族アンケートから、家族の意見や要望を把握しており、検討を行って運営やサービス向上に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間で交換研修を行ったり、合同行事による交流を通して馴染みの関係がつくられるよう配慮している。また、職員異動の際には、利用者や家族に事前に情報提供し、十分な引継ぎを行うことにより利用者へのダメージを防ぐよう配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	「求められる人材育成、法人の新たな礎になる職員の育成」という目的のもと、年間研修計画が作成されている。職員育成のための法人独自の取り組みや、職員の段階に応じて、法人のブロック研修、事業所内外の研修、医師会の勉強会等への参加が行われている。研修内容は会議等で報告したり、回覧し共有が図られている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム置賜ブロック会に参加して情報交換や交流を行っており、交換実習の受け入れも実施されている。また、三友堂病院の医療連携室とも交流があり、勉強会の開催やネットワーク作りを行いながら、サービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と一緒に過ごしながらか、傾聴すること、作品作りで力を合わせる、生け花を楽しむこと、家事を協力して行うことを通して、学んだり支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者支援のために担当職員制をとっており、希望や思いを詳しく把握するようにしている。また、定期的な処遇検討会議、サービス担当者会議、ミーティング等でも話し合い、本人の意向に添った支援が行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族、関係者と話し合い、処遇検討会議やサービス担当者会議で意見やアイデアを出し合いながら介護計画が作成されている。また、介護計画について、本人や家族の同意が得られている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のモニタリングによる変化の確認や介護計画の期間に応じた見直しが行われている。また、状態に変化が生じた際には、その都度の見直しも行われている。		

山形県 グループホーム楓の家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	通院の際には職員が付き添い、かかりつけ医への日常 の詳細な情報提供が行われており、適切な医療が受け られるよう支援されている。また、家族には通院記録簿 でも報告が行われ、本人、家族、かかりつけ医の橋渡し 役としても機能している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	重度化した場合の対応や看取りに関する指針が整備さ れており、本人や家族への説明が行われ、同意も得ら れている。また、状態変化が生じた際には、本人、家 族、かかりつけ医と話し合いながら、全員で方針を共有 するようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをして いない	職員の行動指針や倫理綱領が整備されており、研修も 実施しながら、利用者の尊厳やプライバシー確保の意 識付けが行われている。また、個人情報保護法も理解 されており、職員はもとより、利用者の家族への説明も 契約時に行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを大切にしながら、心身の状況や希望 に合わせた、起床、就寝、食事、入浴、日中の活動等、 個別支援が行われている。		

山形県 グループホーム楓の家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は無理のない役割を持ちながら、職員と一緒に食事の準備や盛り付け、後片付けをしている。また、外食の支援、「寒鰯鍋」や「ひな祭り」など季節ごとの行事食の工夫も凝らされ、食事を楽しむことができるように支援されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調や希望に添った入浴の支援が行われている。また、足浴希望への対応や、菖蒲湯、ゆず湯など、入浴を楽しめる支援も行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や洗濯物たたみ、ごみ捨てや自動精米機での精米手伝いなど、利用者が張り合いのある生活を過ごせるように場面作りを行っている。また、畑で野菜や花を作ったり、買い物外出、晩酌などの楽しみや気晴らしの支援も行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望や心身の状態に応じて、散歩や買い物、ドライブに出かけ、気分転換ができるよう支援している。また、個別援助で美容院や映画鑑賞、外食等にも出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	職員は鍵をかける弊害を理解し、利用者の状態を把握しながら、鍵をかけなくても安全に過ごせるよう見守りを行っている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署や事業所と取引のある業者の協力を得ながら、避難訓練や消火訓練等が定期的に行われている(夜間想定訓練含む)。また、地域への協力依頼や非常時持ち出しバックの準備もされている。		

山形県 グループホーム楓の家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量の把握は状態把握表で行っており、職員間で情報を共有しながら対応されている。また、食材は業者からの宅配であり、管理栄養士によるバランスの取れた献立内容になっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓からの光を調整するためにカーテンを工夫したり、四季の花や装飾で季節感を取り入れるなど、居心地よく過ごせる配慮がされており、共用空間の清潔も保たれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたテーブルや冷蔵庫、仏壇などが持ち込まれ、また、家族の写真や作品も飾るなど、利用者が安心して居心地よく過ごせるよう工夫されている。		